

対象施設の名称	⑦まつがや在宅介護支援センター
指定管理者の名称	社会福祉法人 東京援護協会
所管部課	保健福祉部 高齢福祉課

【評価委員会による評価】

1 事業の運営について

委員会の評価：A （区の自己評価：A）

- 事業計画の策定と自己点検を行っている点は評価できる。
- 指定管理者が設定した目標の妥当性を検討する必要がある。また、自己点検の結果の信頼性を確かめたいという評価を行う必要がある。
- 生活相談、要介護認定に関すること、住宅改修に関する事など、短時間で処理できない。他機関との連携と信頼性を評価したい。
- 第三者評価によれば、パソコンシステムの改善により事務処理時間の軽減等を図る余地があるとの指摘がある。

2 施設の維持管理について

委員会の評価：A （区の自己評価：A）

- 施設の稼働状況を見ると、対応項目と対応件数が多くなっており、事務処理が迅速に行われていると考えられる。

3 利用者の満足度について

委員会の評価：A （区の自己評価：A）

- 第三者評価では、一定の評価を受けている。
- 評価者の信頼性についても検討し、評価項目が区として必要としているものか等を検討した上で評価を行う必要がある。
- 接遇など利用者の評価が高く、職員の意識も高いものと思われる。

4 歳入歳出について

委員会の評価：A－（区の自己評価：A－）

- 収支に課題があるとしているが、3施設共通の管理経費については、按分基準の妥当性について検討する必要がある。
- 自主経営に向けた経費の見直しのためには、見直しの基準と目標数値を示す必要がある。

5 総合評価

委員会の評価：A－（区の自己評価：A－）

- 利用者からの高い評価を維持できるかどうかは、職員の意欲にかかっている。スタッフの姿勢が評価できる。

【区への意見】

- 区の評価は、経営面で課題が残ることを指摘している。経営効率化のため、施設が創意工夫できるための条件を整えるべきではないか。

施設名	まつがや在宅介護支援センター	指定管理者の名称	社会福祉法人 東京援護協会
-----	----------------	----------	---------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	高齢者部門＝特別養護老人ホーム(4施設)、ケアハウス(1施設)、高齢者在宅サービスセンター(6施設)、居宅介護支援事業所(6施設)、在宅介護支援センター(2施設)、地域包括支援センター(3施設) 障害者部門＝知的障害者更生施設(2施設)、知的障害者授産施設(4施設)、身体障害者授産施設(3施設)、地域活動支援センター(1施設)、福祉ホーム(1施設) その他部門＝措置施設(3施設)
②類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム4箇所
③経営状況	(19年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 3,455,227,117円,歳出 3,414,968,219円,収支差額 40,258,898円 [社会福祉授産特別会計]歳入 1,008,370,095円,歳出 996,736,540円,収支差額 11,633,555円

2. 施設の概要

①所在地	台東区松が谷4-4-3
②設置目的	在宅で介護を要する高齢者及びその家族に対し、在宅介護に関する相談、情報の提供及び各種保健福祉サービスを提供する機関との連絡調整等を総合的に行う。
③利用者	要援護高齢者もしくは要援護となるおそれのある高齢者、又はその家族等
④開館日・開館時間	月曜日から土曜日(年末年始、祝日を除く) 9時～17時
⑤規模	延べ床面積 4,671㎡のうち74㎡ ケアハウス松が谷内 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上8階地下2階のうち1階の一部
⑥人員体制	2名(ケアマネージャー)

3. 事業(サービス提供)の概要

①委託事業	福祉用具の展示・相談、住宅改修に関する相談・理由書作成、要介護認定調査
②自主事業	居宅介護支援事業

4. 施設の稼働状況等

19年度施設実績(年間)

	住宅改修理由書作成	福祉用具相談	苦情	相談件数	認定調査実施	ケアプラン契約(新規)	ケアプラン作成(延べ)	介護予防プラン受託	介護予防プラン作成(延べ)	サービス担当者会議
件数	12	20	5	4,137	136	25	595	8	176	103

5. 予算決算の推移 (単位:円)

年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	515,000	157,000	1,357,000	1,357,000
	料金収入等	27,842,000	12,987,000	11,273,000	11,144,000
	管理経費	28,357,000	13,144,000	12,630,000	12,501,000
決 算	委託料	9,414,327	0	1,357,000	
	料金収入等	31,426,518	19,234,792	9,606,573	
	管理経費	31,408,518	20,808,522	12,806,537	
	収 支	9,432,327	-1,573,730	-1,842,964	

6. 評価項目	3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 —：評価対象外項目
----------------	---

評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.0]	(1)施設の目的達成 [2] (2)サービス水準 [2] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [2]	(6)開館時間等の遵守 [2] (7)自主事業の成果 [2] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [2] (10)警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1)利用者・第三者機関の評価 [2] (2)苦情・要望への対応と報告 [2] (3)利用者数の目標達成 [2]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [2]
④歳入歳出 平均 [1.7]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [1] (4)利用料等の徴収・管理 [—]

7. 評価	A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
--------------	---

評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	良好な事業運営がなされている。
②施設の維持管理	A	緊急の修繕等はなく、概ね適切に管理されている。
③利用者の満足度	A	利用者の満足度調査や第三者評価において、利用者及び第三者の評価は高い。利用者が話しやすい関係が築かれており、ケアマネージャーと利用者との信頼度が高い。
④歳入歳出	A-	自立経営に向けた経費の見直しが必要である。
⑤総合評価	A-	良好な運営が行われており利用者からの評価も高いが、収支については課題が残るため、今後も継続して経費の見直しを行う。

8. 課題への対応等
<p>施設管理に係る最少経費の委託料での運営に努めているが、収支については依然として課題が残る状態である。今後も自立経営に向けた経費削減の取組みを行っていく。</p> <p>また、引き続き地域包括支援センターとの相互連携を強化・充実し、高齢者の在宅生活の維持・改善を支援していく。</p>